

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 インプラントを用いた咬合再構成の一症例

演者名 飯干光男

日 付 2011年09月27日

keywords

1. 不定愁訴
2. 短縮歯列

抄 録

患者は、75才女性、義歯の再製を主訴に来院されました。

SJCD会員になる以前は、治療後のトラブルを避けるために、クレームの多くなりそうな患者は、「保険で早く」を心がけていました。「よりいい治療をして、クレームをなくそう」という方向にはいきませんでした。

また、技術、知識も不十分だったとおもいます。

今回の症例も第一印象が「やかましそう」な感じの方だったので、「不定愁訴の患者」として咬合を診ることも、変えることもせずにPDを何回も作ることをくりかえしました。

現在SJCDの会員となり、他の先生方のさまざまなケースを見ると「このままでは、いけない」と思って患者の話や希望をよく聞いて再治療した症例です。

先生方のご意見を宜しく申し上げます